

しつとく 知 得 情 報

H24年1月
NO. 5

発行者：上杉建設サービス㈱ 〒510-0254 三重県鈴鹿市寺家三丁目33-43 TEL：059-386-3643



新年のごあいさつ



謹んで新春のお喜びを申し上げます

皆様よいお年をお迎えのことと存じます。

旧年中は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

皆様のお蔭をもちまして、弊社は本年創業 25 周年を迎えることになりました。

ひとえに皆様方のお力添えと感謝申し上げる次第です。

これを機に社員一同一層気を引き締めて、皆様のご愛顧にお応えできますよう努力いたしたいと存じます。

さて今年辰年。

大きな飛躍が期待されますが、皆様もご承知の通り政治の雲行きが怪しく、様々な増税が議案に上程され、可決されようとしています。

もし増税が全て可決されると国民の負担はかなり増大し、このまま賃金が上がらないと生活が成りたたなくなってしまうような勢いです。

昨年の東北大震災の復興で、一部の業界では特需がおきると言われていますが、東北地方を含めた全国的な失業問題はかなり深刻な状況です。

そんな中、年金支給の問題も先が見えず、老後のビジョンも描けずで、国民はこの先どうしたらよいのか分からず、不安だけが募ってきそうです。

それに追い討ちをかけるような円高、株安は今年も続きそうですが、世界の動向を見るともはやこれがあたりまえのような状態で、今後はその状態を受け入れつつ企業は対策を立て、国民は生活基盤を考えなければならないのではないのでしょうか。

私達住宅業界においても昨年の東北大震災後徐々に変化がおきつつあります。

大手ハウスメーカーは特に大震災後の電力供給問題を取り上げ、エコロジー・省エネをからめて攻勢に出ようとしています。

太陽光発電に至っては住宅業界のみならず、家電業界を始めとした他業種参入で、価格も破壊ぎみです。

皆様にとって最も大切な生活基地である住まいの事ですので、建替えやリフォームを考えてみえる方は今こそじっくり考えて行動して下さい。

自分達は今後どのような生活を誰といつまで続けたいのか、5年後……10年後……15年後……20年後……将来こうありたいと考えて下さい。

そんな皆様のビジョンや夢を私達に語って下さい。

当然それぞれ諸条件の違いから全てクリアする事は難しいかも知れませんが、どうして断念しなければならないのかが納得できれば、後悔しないのではないのでしょうか。

弊社では徹底した話し合いを通じてお客様の夢に少しでも近づけるよう努力いたします。

私の考える自然エネルギーとは、家の中に降りそそぐ陽の光、家の中を通り抜ける風、時には生物に恵みをもたらす雨……等々古代より人々に平等に与えられたものだと考えています。

そんな自然エネルギーを最大限生かし、不足分を設備や装備で補う住まいづくりをめざしています。

昨年は社内に新築住宅部門『フィーリングホーム』を開設。

カタログや価格も改定し、前田部長を中心に活動を始めました。

私達が提唱する住宅は基本的に「普通」であり、必要な装備は普通に採用しつつ、住む人に過剰装備を押し付けない住宅です。

“必要な人に必要な装備を”提案できる基本住宅です。

今後収入の増加があまり見込めない状況の中、限られた予算で住まいをどのように組み立てるか、本当に真剣に考える時代になってきました。

私達はいつも真剣にお客様と一緒に住まいづくりに取り組んでいきます。

どんな小さな事でも私達にご相談下さい。

喜んでご提案させていただきます。

今年も徹底して皆様と共に歩んで参ります。

一步ずつ前へ！

上杉建設サービス株式会社
代表取締役 上杉和文

